

1. なぜ協働が必要か

協働の必要性

社会背景

市民活動が高まる中で、多様化、複雑化する地域課題や、特に行政だけでは対応できない分野においては、行政と多様な主体が力を合わせた取組みが、改めて求められています。

協働による地域の支え合い

協働により、下町特有の「困ったときのご近所さん」「ほっとけない」といった地域の支え合いを強くすることが必要になっています。

地域活動の活力を育む

協働により、地域の課題に自主的・主体的に取り組む地域活動の活力を育むことが可能になります。

多様化する区民ニーズへのきめ細かい対応

協働により、区民ニーズに沿った質の高いサービスの提供や地域課題の解決に向けて、効果的に対応することができます。

台東区における協働の現状と課題

・平成16年3月「NPO・ボランティア等との協働に関する指針」策定

➡指針に基づき、協働推進に向けた様々な取組みを実施

・アンケートからみる協働の現状と課題（H24区民・区職員対象）

現状

区内の活動団体は、地域活動や社会貢献活動に対して、今後もさらに活動を広げていきたいという意欲がある。

課題

協働をより一層推進するためには、協働に対する理解を深め、協働による効果を具体的に示し、地域に関わる多くの人の参加を促すことが重要

協働への期待

多様な力を活かす機会創出

協働は、町会組織の基盤の強さや、ものづくりを中心とした事業者の集積、個性豊かな商店会など、台東区のような強みを活かす機会につながります。

世代を超えた協働 ～若い力と老練な知見のコラボレーション～

世代を超えた協働は、若い力と経験豊かな知見が結ばれ、伝統や文化を継承する機会になるとともに、新たな担い手や創造的な活動が期待できます。

人と人がつながる ～新しい人を受け入れるきっかけづくり～

協働は、新しい地域の担い手を生み、これまで接点のなかった人と人とを結びつけ、本区の地域力をさらに向上させることにつながります。

地域と地域の連携の橋渡し

協働により地域と地域が連携することで、高齢化や防災対策など、各地域共通の課題を乗り越えることにつながります。

新たな創造の可能性

協働により地域力の向上と地域の輪が広がることで、未来に向けた新たな創造の可能性が生まれることが期待できます。

